

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	社会的養護				
担当者氏名	阪本 博寿				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・春期

《授業の概要》

児童虐待が大きな社会問題となっており、養育困難な家庭に代わり社会的養護の場の重要性が言われている。すべての児童が健全に育成されるために、特に家庭で生活できない児童への取り組みとしての社会的養護の基礎概念と理論を学習する。

保育士として専門性が求められる社会的養護の実践を考え、さらには現代社会の児童福祉の問題全般に対応できる技術・実践力が身につくことを目指す。

《授業の到達目標》

現在社会では家庭で子どもの養育が十分にできない現状である。社会的養護の機能が社会全体で必要とされていることを理解する。

テーマ 『子どもの権利擁護に関する様々な課題』

《テキスト》

「福祉と養護」 「福祉と養護」編集委員会編
みらい

《参考図書》

「社会的養護」 吉田真里編著 萌文書林
資料を適宜配布する

《授業時間外学習》

子ども問題の新聞の記事に関心をもっておく。興味のある記事は切り抜き集めておく。
配布するプリントを整理しておく。

《成績評価の方法》

平常点(受講態度・発表・グループワークの協働態度)40%、
提出物(レポート)30%
定期試験30%で総合的に評価する

《備考》

講義中に課す提出物は、提出期限を厳守のこと

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	社会的養護の意義	現在社会における社会的養護の意義、社会的養護のニーズの変遷と対応
2	児童家庭福祉の歴史の変遷	イギリス、アメリカ、日本の児童福祉・児童家庭福祉の歴史
3	児童の権利と権利擁護	基本的人権、児童憲章、児童の権利宣言、児童の権利に関する条約
4	児童の権利と権利擁護	施設における権利擁護の取り組み(子どもの権利ノート、意見箱、評価)
5	社会的養護の実施体制と仕組み	社会的養護の体系の概要、施設養護の種類、家庭養護の種類
6	社会的養護の実施体制と仕組み	社会的養護の実施体制、措置制度と利用契約制度
7	施設養護の実際	施設養護の基本原則(施設養護の特質、施設養護の基本原則、施設運営指針に基づく支援)
8	施設養護の実際	施設養護の基本原則(施設養護の特質、施設養護の基本原則、施設運営指針に基づく支援)
9	施設養護の実際	社会的養護の形態の現状(小規模の方向と質的充実)
10	施設養護の実際	施設養護の展開過程(アドミッションケア、インケア、リーピングケア、アフターケア)
11	施設養護の実際	施設養護の展開過程(アドミッションケア、インケア、リーピングケア、アフターケア)
12	施設養護の実際	施設養護のインケアの実際(個別化に基づく支援、日常生活の支援、家族への支援、地域の子育て支援、社会参加)
13	施設養護とソーシャルワーク	保育士とソーシャルワーク 社会的養護におけるソーシャルワークの原則
14	社会的養護の現状と課題	児童虐待、非行少年、被措置児童等の虐待防止
15	まとめ	講義全体の振り返り